

# 宇治市要保護児童対策地域協議会 令和4年度第1回代表者会議 議事要旨

<日 時> 令和4年8月30日(火) 14:00~15:30

<場 所> うじ安心館 3階ホール

<出席者> (委員:21人出席/24人中)

中田会長、奥西副会長、水嶋委員、大塚委員、石原委員、小原委員、池本委員、久世谷委員、井上委員、小西委員、岩崎委員、米田委員、奥野委員、中田委員、中川委員、辻本委員、今西委員、堀委員、佐々木委員、吉田委員、金久委員、栗田委員  
(事務局)

福祉子ども部 福井福祉子ども部長、柏木福祉子ども部副部長、川崎子ども福祉課長、永池子ども福祉課副課長、小栗子ども福祉課主幹、久保子ども福祉課子育て企画係長

(傍聴者) 1人

<会議内容>

## 1 開会

- ・「宇治市要保護児童対策地域協議会の会議の公開に関する要項」に基づいて、公開で会議を進めていくことを確認。

## 2 委嘱状交付

- ・松村市長より委嘱状交付。

## 3 市長挨拶

- ・松村市長より挨拶。

## 4 委員自己紹介

- ・事務局より、配付資料確認。
- ・事務局より、席次をもって委員紹介とする旨を説明、欠席委員報告、事務局紹介。

## 5 会長・副会長選任

- ・指名推選により、会長に中田委員、副会長に奥西委員が選出され、承認される。
- ・続いて、中田会長、奥西副会長より挨拶。

## 6 議題

### 1) 会議の公開の取扱いについて

- ・資料1「協議会関係資料」のうち、「宇治市要保護児童対策地域協議会の会議の公開に関する要項」に基づいて、公開で会議を進めていくことが確認された。

## 2) 宇治市の取組状況について

## 3) 京都府の取組状況について

- ・事務局より、資料2「宇治市報告資料」に基づき、説明が行われた。
- ・京都府宇治児童相談所より、資料3「京都府報告資料」に基づき、説明が行われた。

### 【意見交換・質疑応答の概要】

- 宇治児童相談所の児童虐待相談受理件数では、経路別受理状況で警察からの通告が最も多くなっているが、これについて状況を知りたい。
  - 面前DVによる通告が多くを占めている。ネグレクトなどの通告も多い。
  - 警察への通告経路としては、近隣住民のからや児童の関係者等からがある。
  - 虐待の発見に漏れが無いよう些細な事であっても通告を行うようにしている。
- 学校からの通告も一定数あるようだが、これについても状況を説明してほしい。
  - 学校においても、児童の様子から虐待を疑われるものがあれば、些細な事であっても通告を行うようにしている。
- 通告を同じ児童や世帯で複数回受けることはあるのか。
  - 夫婦喧嘩などが原因となっているものについては、10～20回通告があるようなケースもある。単なる口論で済まない場合もあるので、児童のケアを第一に考えて対応している。
- 啓発活動の効果はどうなっているか。
  - 啓発の効果は目に見えるものではないが、先日行われたヤングケアラー研修会にも多くの方が参加されたことから虐待等に対する意識が高まっているのではないかと思う。

## 4) その他報告事項

- ・次回代表者会議は、令和5年2～3月頃に開催予定
- ・令和4年度オレンジリボン・パープルリボンキャンペーンの実施予定について

## 7 閉会